

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	朝日村の未来へ向けて、伝統文化継承事業 ～過去から未来への懸け橋～
事業主体 (連絡先)	朝日村 (朝日村子育て支援センター)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	482,760 円 (うち支援金: 386,000 円)

事業内容

- ・過去から未来への懸け橋となるカルタを制作する。
- ・村内の団体、学校、福祉施設や有識者へ呼びかけ、住民や村にゆかりのある方にも参加してもらう。また、児童クラブの子ども達がカルタに関心をもって制作や遊びに参加するため地域に出かける。
- ・カルタには、札にまつわる歴史や地域の特徴の解説文を加え、また、絵本のようなカルタ冊子も作成する。
- ・カルタをお披露目し、村内外の多くの方に関心を持ってもらう。また、カルタ大会の開催や福祉施設等でカルタ遊びを取り入れてもらう。



【完成したカルタと冊子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・カルタに歴史や文化、地域の特徴を多く取り入れることができ、読み札や絵札から村を感じることができる。また解説文を加えることでさらに詳しく知ることができるものとなった。(カルタ 300 部・冊子 1,500 部)
- ・カルタ制作に多くの方から携わってもらい、関心も高く、また、カルタ遊びは子どもだけでなく大人も夢中になり多くの人との交流の場となり、話のタネとなっている。冊子は、カルタ遊びができない方にとっても、読み札や絵札に触れ、ひとりでも仲間とでも楽しむことができると好評。転入してきた方や子どもたちには、村の知らないことや歴史にカルタをすることで親しみをもち、関心を深める良い機会となっている。

【目標・ねらい】

- ①村の歴史や文化を後世に残す
- ②地域の魅力の発見・愛情を育む
- ③地域の元気を生み出す

※自己評価【 B 】

【理由】

歴史や文化、地域の特徴を取り入れたカルタとなり好評である。今後、カルタをきっかけとした地域の和や村への関心が高まるよう活用の継続性が望まれるため

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

カルタの地域での活用、冊子を通じた村の歴史や文化、地域の特徴の発信のツールとして、地域のコミュニケーションの深める機会としての利用（貸出等）を検討していきます。また、小学校では学習の題材として、子育て支援センターではカルタ由来の場所を訪ねる村内めぐりの開催等、カルタをきっかけとしたイベントや話題づくりを計画していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある